

## 飲酒検知器用ストロー拡充 踊り場入りの義務化需要深耕

### シバセ工業

ストロー製造のシバセ工業㈱(浅口市鶴方町六条院中3037、磯田拓也社長、資本金1000万円)は、アルコール検知器用使い捨てストローに口径4.5mm×長さ7cmの新商品を投入した。

主流の5~9mm以外の口径を採用している一部の機器に対応したもの。需要は限られているが、飲料用を短く切って使用す

るしかなかったユーザーなどから要望の声があり商品化に踏み切った。昨年12月の飲酒チェック義務化へ、機器が早期に行きわたったことで新規顧客の獲得が踊り場に入る中で、ニッチな需要まで網を広げ獲得を図る。

価格は個包装品が800本入り1040円(税別)、包装無しが2000本入り1000円

(同)。

シバセ工業によると、シェアが高い直接息を吹き掛ける方式の検知器では、周囲の空気の影響を受け誤検知するケースが発生しており、同形式には安価な海外製が多いため故障の頻度も高いことから、各メーカーと連携したストロー方式の衛生面のメリットの啓発も強化することで、切り替え時の需要を獲得していきたい考え。

同社のアルコール検知器用ストローの販売本数は2023年度8300万本。